

2021 年度新潟県クラブユースサッカー新人戦マニュアル（抜粋）

2021 年度新潟県クラブユースサッカー新人戦用ガイドライン

【大会参加基準（制限）】

状況	対象	大会参加制限
37.5 度以上の発熱やせきなどの症状がある場合	選手・指導者	自宅療養（原則参加しない）
	チーム	制限なし
感染者との濃厚接触が疑われる場合（接触者）※1	選手・指導者	※濃厚接触者と認定されない・・・大会参加 ※濃厚接触者と認定された場合・・・※2
濃厚接触者となった場合※2	選手・指導者	PCR検査で陰性・・・2週間自宅待機 PCR検査で陽性・・・チームも不参加※3
感染が判明した場合※3	チーム（登録選手）	大会出場の停止
選手が通う学校が休校または閉鎖の場合	選手	解除されるまで参加禁止
	チーム	制限なし

※1. チームは参加可能。※2で陰性は2週間後参加可、陽性の場合には大会出場の停止。

※3 家庭内感染等も適用

個人情報の流出等に十分配慮し、感染（疑い）者への誹謗中傷等が起こらないよう徹底を図ること。

以下JFAのガイドラインの抜粋です。2021.3.5版

1 【P27】 各チーム感染対策責任者を設置する

参加チームは、感染対策責任者を設置し、事前、会場、事後に相互が連絡を取り合えるようにする。

	チーム感染対策責任者
事前	<ul style="list-style-type: none"> 各チームで大会（試合日）までの選手の健康状態の管理を徹底する。 ※管理方法は各チームに一任する。健康チェックシート（2週間前）。
会場（当日）	<p>感染予防対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>メンバー表と競技会提出用リストを提出</u> (※公共施設は名簿の提出を求められる可能性あり) ※各会場主任は当日の【メンバー表】と【競技会提出用リスト】を代表者会議で大会競技委員に提出をする。また、競技委員は大会が終了するまで保管をする。→感染があった場合に濃厚接触者の確認等に使用されます。 緊急時の連絡体制の確認 競技場内における、感染予防行動のチーム関係者へ確認 ※保護者等の応援等への配慮も各チームで徹底してください。密になった状態での観戦や、大きな声を出しての応援等はできません。

事後	・万が一感染者もしくは濃厚接触者が終了3日以内に確認された場合の対応 確認→大会感染対策責任者へ連絡（競技委員長）
----	--

※当日は、各会場主任は大会競技委員・事務局との連絡が常にとれる状態をお願いします。

2 【P29】 大会当日までの健康状況をチェックする（P56 健康チェックシート）。

- ① 登録メンバーは大会初日2週間前より健康チェックシートで健康状態をチェックし、チーム感染対策責任者が競技会提出用リストを初日に提出する。

	選手・チームスタッフ
事前	・日々の検温と日々の体調の記録（毎朝検温・体調の記録を習慣にしてください。） ・緊急連絡先の確認 ・体調不良や同居の家族、身近な人に、感染を疑われる人が出た場合は、すぐに感染対策責任者に連絡し参加を控える。
会場（当日）	・3つの密を避ける行動、咳エチケットの実行、手指消毒／手洗いを確実に 行う。大会留意事項を確実に 行う。
事後	・3日以内に具合が悪くなったら（発熱・倦怠感・味覚／異臭異常など）すぐにチーム感染対策責任者に連絡する。

3 【P41】 試合会場では感染症予防対策を徹底する（競技会会場における感染症対策）

- ①使用する会場の感染症予防対策も遵守する。

- ②感染症対策に使用する物品（消毒液等）は連盟運営費から支出する。

※各チームは消毒液を準備すること。ボトル2本までの費用を連盟運営費から支出する（領収書の提出）。

※会場によっては使用者の名簿提出等が求められる場合がある。事前に確認する。

- ③保護者の応援等

声を出しての応援は禁止とする。拍手は可能。試合当日、必ず検温をしてから会場へ

※上記大会参加基準を適用する。

4 【P55】 夏季における熱中症予防に向けた留意点 について

- ①試合やアップ以外は、可能な限りマスクを着用するが、野外で十分な距離があればマスクは外しても良い。

5 【P47～P51】 運営に関わる注意事項を事前に代表者ミーティングで確認

- ①**個人のボトル**をピッチに配置したり、クーリングブレイクを用いるなど水分補給は確実に
行う。

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・円陣はしない
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない 口に含んだ水を吐かない
- ・ボトルを共有しない
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・タオルを共有しない ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
ベンチではマスクを着用し、会話や大声を控える。

JFA のガイドラインは詳細な内容となっています。但し、地域の実情に応じた対応も認めていますので、一般的な常識の範囲内での感染症対策をお願いいたします。今後の状態によっても緩和されるかもしれません。現段階で、リーグ事務局で JFA のガイドラインを参考に作成しております。